

# 芋井地区住民自治協議会だより

発行者 芋井地区住民自治協議会 会長 和田 智  
TEL 026-262-1583 FAX 026-262-1584  
ホームページ <http://i-mo-i.net/>

第26号 平成28年4月1日発行

## 地域おこし協力隊の活動報告会を開催しました（総務部会）

2月22日（月）、昨年から芋井地区で活躍している隊員の報告会を開催しました。

### 《長野市地域おこし協力隊 芋井地区担当 古川 悠太》

昨年6月の着任以降、りんご栽培の研修を主として活動しています。地区内の活動だけでなく、芋井地区のりんごPRとしてマルシェにも出展しました。その他、桜地区の遊休地整備も行っています。



来年の春にりんごの苗木を定植できるように引き続き整備を進めていきたい考えです。

報告会では、「なぜ芋井にきたのか?」「なぜりんごづくりにしたいのか?」といった、普段話す機会がないこともお話ししました。

また、「地域おこし協力隊」という呼称ゆえに活動内容を誤解されることもあります。私は、「私は、りんご農家の後継者になるために活動している」ことを強調しました。

最後に、芋井地区を10年、15年後どのような地区にしたいのか、今一度考えさせていただきたいと思い、「芋井地区に将来像はありますか?」という疑問を提示させていただき、活動報告と致しました。

### 《長野市地域おこし協力隊 芋井地区担当 小池 将太》

昨年10月の着任以降、芋井地区がより魅力的な場所に、10年20年後も持続可能な地域になれる様にとの思いを持ち活動してきました。

地域活性化の先進地域である、徳島県神山町、岡山県美作市へ視察に伺い、地域と若者の繋がりを主に勉強させていただきました。若者1人から始まった地域活性化への道も人が人を呼び、また人を呼ぶ、決して簡単な道では無いですが、少しずつ前進し地域住民の皆様が笑顔、外部から来た若者も笑顔。そんな地域であっていただきたいと思います。



古川隊員が最後に申し上げた『芋井地区に将来像はありますか?』という疑問にどんな答えでも構わないのでありましたら是非、小池に教えてください。お待ちしております。

## ボランティア講座が開催されました（福祉部会）

1月21日（木）、芋井農村環境改善センターホールで「芋井地区ボランティア講座」を開催しました。今年度はタイトルを『さる年にちなんで あなたも聴き上手 話し上手になりませんか?』とし、傾聴を学びました。

講師はフリージャーナリストで「いつも傾聴電話」の運営委員長である内山二郎氏。

会場は先生の体験を通した、お話から始まり笑いの渦に……。

お話は大変興味深く、人づきあいの稀薄がちな今の時代の不安への対処法、そして「聴くこと」の大切さ。また、人とつながる事がいかに必要かワークショップを通じて実感した素晴らしい講座となりました。



## 初めての移住者懇談会を開催（振興部会）

1月23日（土）、アゼリア飯綱で移住者懇談会を開催しました。県外から移住してきた家族3組と個人2人が参加し、移住してからの様子を話し合いました。

「不動産情報サイトで畑付きの家を探し、地域の役も引き受けている」という人や「何でも加工できる施設が出来れば良い」等、色々な意見や要望が出されました。懇談会は今後も開催して、芋井への移住を検討される人への参考にさせていただきます。

## 「芋井の焼酎を造る会」設立総会開催される（振興部会）

～芋井で育てたジャガイモを原料に焼酎を造ってみんなで飲もう！～と2月28日（日）、芋井内外からの応募による会員149名（当日現在）のうち60余名の参加を得て「芋井の焼酎を造る会」設立総会がアゼリア飯綱において開催されました。



総会では、まず「みんなで芋井の焼酎を造る」ということを全員で意思統一しました。その後、会則、理事及び役員承認、平成28年度事業計画・予算等が議決され、代表理事に飯塚八十雄氏が就かれました。

総会後の懇親会では、北海道から調達した芋焼酎を味見するなどして盛大なうちに終了しました。

## 「災害に負けない集落づくり事業」の継続

芋井地域には「災害時に孤立する可能性がある集落」が多々存在しています。そこで、孤立集落対策については急務となっています。昨年度、坂高木・広瀬の2地区において集落ごとの防災マップづくりを進めてきました。

この防災マップは、マルチコプターを活用した地図（航空写真）を基に集落の方々との現地踏査やワークショップを通じて、現在の様々な問題点（避難場所など）を掘り起こすなかで作成していきます。



今後は、残りの地区についても「集落の防災マップ」作成を目指して事業を継続していきます。

## 土砂災害警戒区域（地滑り）指定の説明会開催される

土砂災害により被害を受けるおそれのある場所の地形や地質、土地の利用状況などを調査した結果がまとまり、その指定に関する説明会が行われました。

芋井（飯綱地区は除く）は、ほとんどの地域が指定されます。

指定される地域の地図は、住民自治協議会にありますので、必要な方は連絡ください。

なお、指定地域を載せたハザードマップは、来年度、市が作成して全戸へ配布される予定です。

## 大字桜地区が統合します

行政連絡区の統合を検討していた大字桜地区が4月1日付で統合します。

新たな地区名・・・桜区

統合する区・・・松久保、坂額、中村、坂高木

世帯数・・・54世帯





## 平成27年度協同(法人)募金にご協力いただきありがとうございました

共同募金にご協力いただいた法人をご紹介します。(敬称略)

(有)麻場金属工業 (株)石坂産業 芋井郵便局 (株)オズ (株)柏与ビジネスセンター (株)クリエイション  
清水電気 (有)住創高建 スマイル観光旭(株) (株)デベロッパーしなの (株)中重建設 (株)長野カントリー  
(株)博善社 宗教法人法学寺 (株)松山工務店

## 「ほたると桜の里づくり委員会」会員を募集します！

「ほたると桜の里づくり委員会」では、豊かな自然の中で、ホタルの飛び交う姿をご覧いただく  
と例年「ホタル観賞会」を開催しており、大勢の方に観賞していただいています。

一方、同会では、ほたるの生息環境等を整え、よりたくさんのほたるが飛んで来てくれるよう苦心  
しています。手をさしのべていただける会員を大募集していますので、賛同していただける方は住自  
協まで連絡ください。

## 「芋井村誌」復刻版を発行します

昭和32年に発行された「芋井村誌」をA4判に拡大して復刻版を発行します。

発行時期・・・6月頃

値 段・・・1,500円～2,000円

購入を希望される方は、4月28日までに住自協へお申し込みください。

## 「住自協だより」に掲載する広告を募集します！

芋井地区住民自治協議会では、自主財源の確保と広報活動の一層の充実を図るため、広報紙「住自  
協だより」(本紙)へ掲載する広告を募集しています。年4回発行する「住自協だより」は部数1,000  
部で芋井地区全戸に配布する他、地区内の関係機関、公共機関等にも配布しています。「信頼性」と  
いう付加価値と、一般的な広告価格よりも「安価」でご利用いただけることから、大きな宣伝効果が  
期待できますので、企業・商店・団体等のPRなどにご活用ください。

### ■ 広告の大きさ及び掲載料

枠 数	サイズ 縦×横 (mm)	掲載回数	金 額 (円)
1	30×80	年間(4回)	10,000
2	30×80×2	年間(4回)	20,000

※応募方法等詳細は住自協事務局までお問い合わせください。

